フリートークまとめ

月日：２０１７年１月１２日（木）午後

出席者数：１７名

＊学院の事務の方との連携

　同窓会行事日における外部業者の依頼

　・昨年度クリスマスバザー／マイヤーホールのボイラー修理

　　駐車場使用不可や作業車通行のための車の移動などが必要だった。

　・今年度追悼ミサ／造園業者の作業

　　日本庭園側高校校舎前とアンジェラス広場は駐車場として使用中だった。

　生徒が学校に来ない日に作業依頼していると想像されるが、可能な範囲で同窓会行事も

　含めて外部業者への依頼日程を検討してほしい。

　学院事務の方との連携を深めていきたい。

＊お墓の花入れが割れている。せめて水が漏れないようにしては。

＊バザー

　同窓生が仲良く交流しているのを見て、「いい学校ですね」と

　来場者に言われた。

　クリスマスバザーは、施設を借用、生徒ボランティア等、学院の支援をいただいている

　が、小学校と中高の先生方とで、同窓会バザーに対する温度差を感じることが多い。

　小中高、同窓会で一緒にバザーを盛り上げようとしてほしい。

　入学希望者も来られている。

　バザーは、同窓生の親睦、交流reunionに加え、その収益は特別会計で同窓会の活動の

　柱の１つである寄付事業の原資となっている。

＊複数の中学校の説明会参加経験者や中学受験経験者から

　入学希望者へのアピールの方法を検討してほしい。改良してほしい。

　塾へのアピールも足りないように思う。

　良さが伝わってこないことに、聞いていてもどかしさを感じた。

　他校の説明も変化してきている。

　他校例：進学クラスと旧来の良さを生かした教育

　　　　：数学教育にも力を入れていることを強調

　英語教育の充実やボランテイア活動についても、同じ活動を他校がメデイアで取り上げ

　られている。ことさらにアピールしないのも良さの１つかもしれないが、一般の人には

　伝わりにくい。

＊小学校と中学校では、保護者の雰囲気がガラリと変わるように感じる。

　バザーやボランテイアに参加したくない人が増える。

＊中学校入試をやめ、小学校入試だけにする、５年生入試なども一考ではないか。

＊マイヤークラブ、ロザリオヒルの環境の素晴らしさは魅力

＊小学校受験希望者と中学受験希望者の保護者では知りたいポイントが違う。

＊保護者が知りたい情報、ニーズを捉えてほしい。

＊マイナスイメージは広がりやすい。

　・手芸が大変との噂を聞き、受験をやめた

　・厳しい、地味　・大学が東京である　・受験指導をしない

＊中学受験の希望者には、指定校推薦の多さは、大きな魅力であるはずだが、あまり触れ

　られない。

＊人間教育、礼儀正しさ、言葉遣い、黙る、聞く姿勢など、

　卒業後に小林聖心で学んだこと、良さを再認識することが多い。

　もっと伝えてほしい。

＊卒業生が何十年経っても学校に来る。一生を通した仲間、世代を超えた関係を築き、同

　窓会の活動を行っている。

＊将来、どういう女性に育っていくか、先生方も卒業生と交流し、卒業生の姿を知ってほ

　しい。

＊内部に向けては、卒業生の話を聞く機会があるようだが、外部の方にも知ってもらい、

　入学希望者を増やしてほしい。

＊惜しみなく働き、それを喜びに変える。

　自分の意見を言える。自ら考えて行動する。

　創立以来、脈々と受け継がれてきた良さがある。

＊名簿について

　今期では名簿の発行はしない。

　名簿の発行をやめるわけではない。

　１００年や１１０年、１２０年など、何周年かの時期で発行を検討する。

　その際は、全会員に掲載内容について希望の有無を確認する必要がある。

（参考）終了間際になり、名簿についてはこれ以上の議論の時間がなくなった。